

超小型EVシェアリングの導入によるまちの魅力向上に関する研究

社会システム計画学研究室2016年度卒業研究 キム ヘヨン

研究の背景

自動車への過度な依存による問題

慢性的な交通渋滞

公共交通の衰退

温室効果ガスの排出

自動車への過度な依存による問題の対策



岡山市でも超小型EVシェアの導入が検討されており、2016年10月24日～12月22日に岡山市中心部で実証実験が行われた

しかし、超小型モビリティのシェアリングの導入がまちの魅力に及ぼす影響を明らかにした研究は見られない



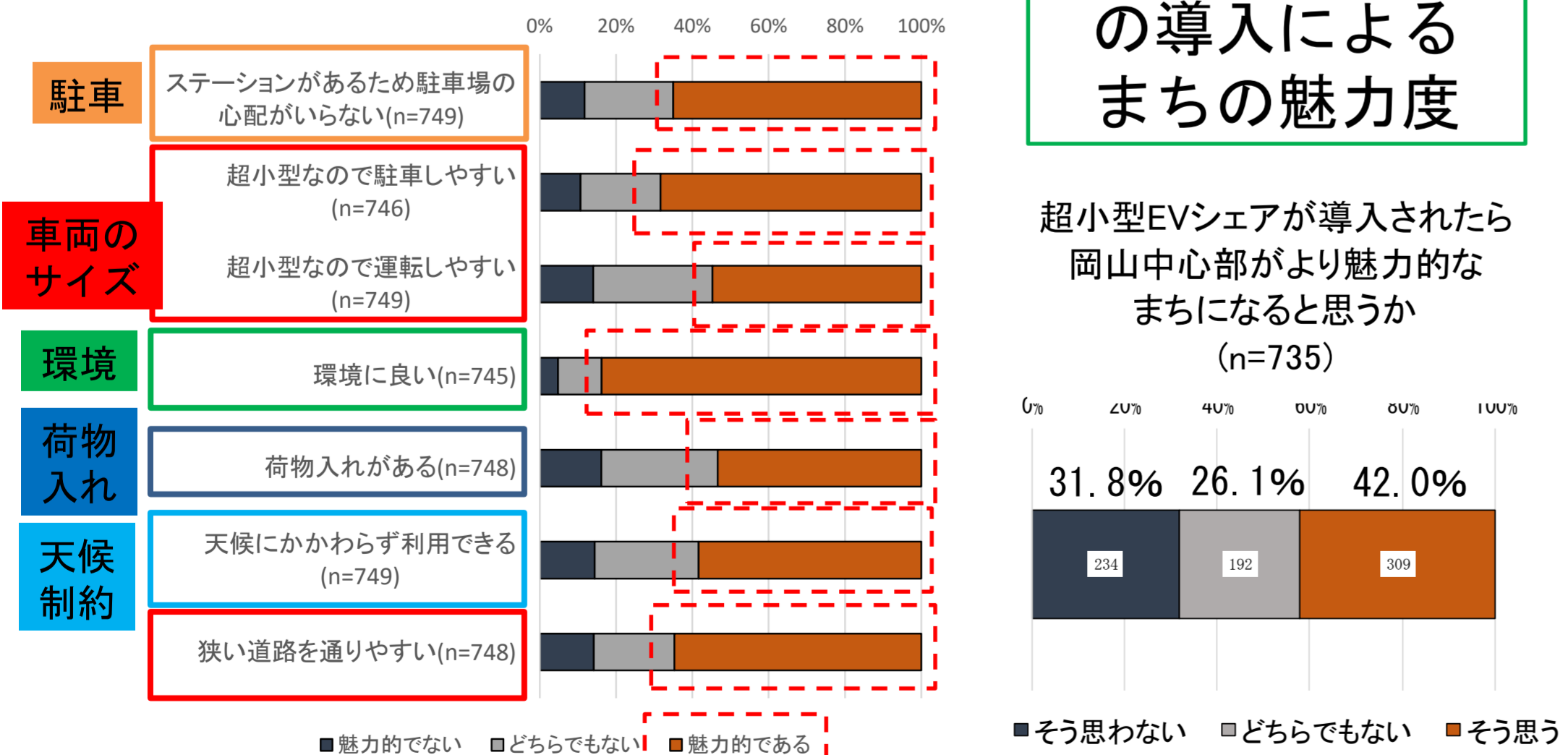
研究の目的

超小型EVシェアリングの導入がまちの魅力に及ぼす影響を把握することを目的とする

調査対象と使用データ

超小型シェアの概要	アンケート調査概要
<ul style="list-style-type: none"> 10分当たり200円(仮定)で超小型EVを借りて利用 車両の最大速度60km/h 車両の1充電で連続走行距離50km 岡山市内の一般道路を走行 普通自動車運転免許が必要 	<p>調査名 超小型電気自動車共有システムに関するアンケート調査</p> <p>調査対象 岡山駅から6km圏内にある社員40人以上企業の社員(804社、各企業5人)</p> <p>調査方法 郵送配布・郵便回収</p> <p>調査内容 所属企業属性、業務上利用意向、個人属性、私的な利用意向、システムによる行動変化・まちの変化・まちの魅力</p> <p>配布数 4020部(804社×5部)</p> <p>有効サンプル数 759部</p> <p>回収率 18.88%</p>
超小型シェアの特長	
<ul style="list-style-type: none"> 1人乗りのコンパクトサイズ 荷物入れ(30kg積載可能)あり 雨の時にも利用可能 狭い道の走行可(車両の全幅約1m) 狭い場所でも駐車しやすい 乗ったステーションと別のステーションにも返却可 駐車代が不要 環境に優しい(排出ガスなし・警音が小さい) 	

超小型EVシェアの魅力

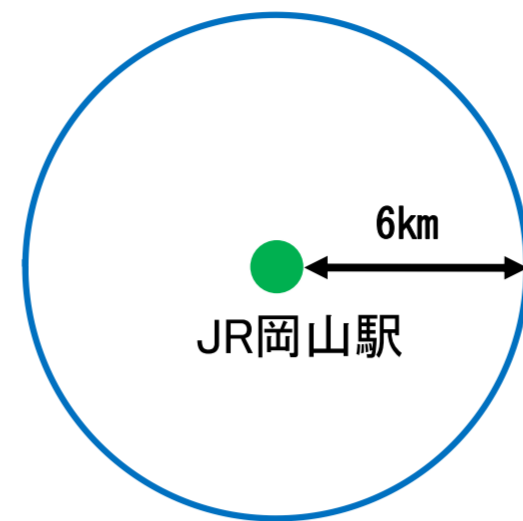


導入によりまちの魅力向上



PT調査データの分析

超小型EVシェアの導入範囲の設定



JR岡山駅を經由する移動の80%がこの範囲に目的地がある

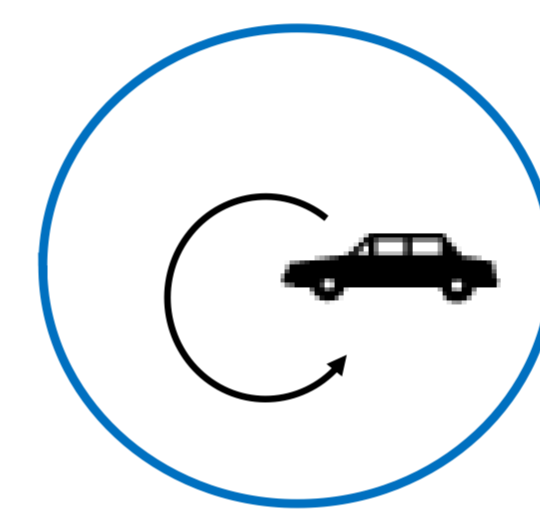
超小型EVシェアのサービスエリアを駅中心半径6kmの範囲とする

超小型EVシェアに代替できる移動の事例



あるPT調査回答者の出勤
岡山市北区 玉柏(自宅) ↓ 岡山市南区 泉田(勤務地)

超小型EVシェア導入範囲内の自動車の利用状況



範囲内で完結する移動

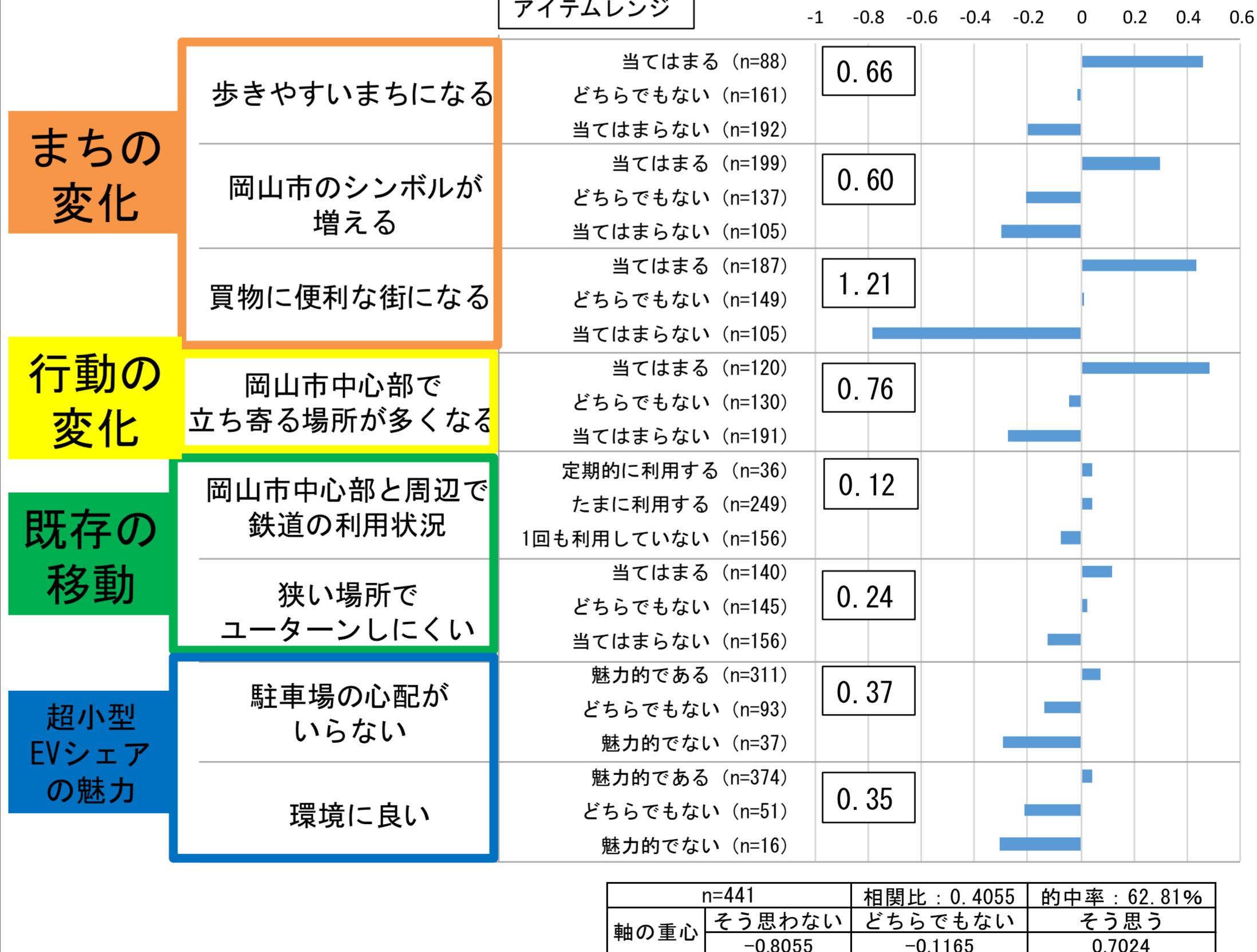
	平日	人数(人)	構成率(%)
1回以上移動が範囲内で完結		100056	15.15
全ても移動が範囲内で完結		53621	8.12
5歳以上岡山市人口		660612	

分析結果

超小型EVシェアの導入によるまちの魅力度に関する要因分析

超小型EVシェアが導入による岡山市中心部の魅力度

そう思わない ← 0 ← そう思う



結論

超小型EVシェアの導入によるまちの魅力度に大きく影響する要因

